記　者　発　表　資　料
令　和　７　年　５　月　９　日
仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会
（宮城県観光戦略課内）
担　当　：　赤　間　・　須　賀
電　話　：　０２２－２１１－２８９５
E-mail：kankouc@pref.miyagi.lg.jp

仙台・宮城の新たな観光キャッチコピー・ロゴマークが決定しました

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会では、仙台・宮城の観光をより一層盛り上げるためのシンボルとなる新しいキャッチコピーとロゴマークを決定しました。
今後は当キャッチコピーとロゴマークを活用し、様々な場面で仙台・宮城をＰＲすることで、国内外からのより一層の誘客に繋げていきます。

１　キャッチコピー

「みやげ話は、みやぎ話。」

○宮城県を訪れた方に、宮城県での旅の思い出を「お土産」として持って帰っていただきたい、という想いを表現しています。
○また、旅行の「土産話」をきっかけに、聞いた方も宮城県に興味を持ち、実際に足を運んでいただきたいという願いを込めています。
○そして、その方がまた他の方に話すことで、宮城県の魅力がさらに広がっていくことを期待しています。

２　ロゴマーク

「お土産」を連想させる風呂敷と、「みやぎ話」を連想させる吹き出しを組み合わせた、インパクトのあるデザインとしています。

３　キャッチコピー及びロゴマークの使用について

今後、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会や協議会会員等が作成するパンフレットやポスター、各種広報物等で順次使用していきます。
また、一般の方や企業等の使用も可能です。詳細はホームページをご覧ください。

参考　決定までのスケジュール

①一般公募
(R6.10.30～11.29)
応募総数：2,651件

→

②1次審査
(R6.12～R7.1)
2,651案▶5案に絞り込み

→

③一般投票
(R7.1.29～2.21)
投票総数：1,927票

裏面あり

４　今後の観光プロモーションの方針について

（１）目指す姿（ビジョン）

宮城県を訪れた旅行者が、「みやぎのみやげ話」を他と共有することで新たな訪問や再訪を促し、さらなる観光交流が創出される地域づくりの実現を目指します。

（２）テーマ・ターゲット等

本県は、山も川も海も行きやすく、１年を通じ、自然を楽しめる環境であることが特徴です。この特徴を最大限に活かすため、下記のとおりテーマ及びターゲットを設定します。

■テーマ：自然・アクティビティ

地域にある既存の「自然・アクティビティ」に係るコンテンツのプロモーションを実施するほか、市町村や会員団体等との連携を強化しながら、地域の魅力を引き出すためのコンテンツの選定・発掘・磨き上げに取り組みます。

■実施期間：令和７年度から３年程度

特定のテーマ（自然・アクティビティ）に基づく取組を数年間にわたって実施し、効果を検証しながら改善と磨き上げを継続して行います。

■メインターゲット：東北（県内を含む）・関東地方に居住する１０代から３０代の女性

宮城県は東北新幹線等でアクセスが容易で、首都圏等からの短期旅行先として高いポテンシャルを有しています。また、１０代から３０代の女性はＳＮＳを積極的に活用する世代であり、旅行先の情報発信力が非常に高いことから、プロモーション効果の最大化が期待できます。

（３）取組案

○ＳＮＳやディスプレイ広告、サイネージ等を活用し、県内にある既存の自然・アクティビティコンテンツのプロモーションを実施します。

○テーマに沿った観光コンテンツを選定し、自治体・関係団体と連携しながら磨き上げ内容を検討・実施します。

○自然・アクティビティを活用しながら、宿泊・地域周遊を促す企画を実施します。

※現時点での案であり、詳細な内容は会員市町村・関係団体と連携して検討のうえ実施します。

※「仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会」について

観光にかかわる事業者、県、仙台市をはじめとする市町村及び各産業界が連携して、宮城県の有する豊富で多様な観光資源を全国に向けて広報宣伝し、本県観光のイメージの向上を図るとともに、より多くの観光客の誘致を実現していくことにより、観光を活かした地域振興の推進と隣接する県外市町村との連携による広域観光の活性化に寄与することを目的として組織されています。